

令和元年（2019 年） 9 月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（４日目）

令和元年 9 月 13 日（金）

※ 1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	翁 長 雄 治 (ニ ラ イ)	1 子育て行政について	子育て世代包括支援センターら・ら・らステーションの現状と課題について伺う
	質問方式 一問一答方式 (演壇・質問席)	2 健康行政について	昨年より提案をしてきた健康アプリについての進捗と課題について伺う
		3 公園行政について	大型公園における避雷針の設置について当局の見解を伺う
		4 本市広報のあり方について	本市における SNS の活用について以下伺う (1) どの様な媒体を利用しているか (2) 更新頻度について (3) 広報内容についてはどの様に決定しているのか (4) SNS 管理について
		5 人権問題について	L G B T 条例制定について本市の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（４日目） 令和元年 9 月 13 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	奥 間 亮 (自 民 党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 保育所等周辺生活道路の安全整備について 2 私道整備について 3 公園管理について 4 那覇港管理組合の取り組みについて 5 総合教育会議について 6 こどもの孤食について 7 プロ野球及び経済観光行政について	通学路の安全整備も当然のことながら、通園路（保育所や幼稚園、認定こども園等、こども関連施設周辺の生活道路）の交通安全対策及び整備に、もっと力を入れるべきである。通園路の安全整備について、市長の今後の取り組みを問う 私道整備の支援を拡充すべきである。市長の今後の取り組みを問う 平成 29 年 12 月補正予算において約 750 万円の一般財源を増額計上し「老朽化した公園遊具の速やかな修繕及び撤去等を行うため」として、追加で予算措置を行った過去があるものの、もっと那覇市は公園管理に力を入れるべきである 市長の決意と今後の取り組みを問う 「みなとまちづくりマスタープラン」の施策実現と組織体制強化に関連する今後の取り組みについて問う 次回の那覇市総合教育会議について、その予定及び市長の考え方を問う 那覇市おける、いわゆる「こどもの孤食」について、把握している現状（データ）を問う キャンプ誘致等のプロ野球振興と、本市との連携に関し、市長の今後の取組みを問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		8 土砂災害対策について	土砂災害対策や急傾斜地崩壊対策に係る、那覇市独自の補助事業を創設できないか。市長の見解を問う
		9 那覇市ぶんかテンプス館について	那覇市としては、てんぶす那覇の賑わいはこれで十分だという認識か。それとも、もっと賑わいをつくりたいという認識なのか、市長の見解を問う
		10 捜査関係事項照会への対応について	那覇市立図書館が、刑事訴訟法に基づく捜査関係事項照会に対し、法令を遵守した上で回答したという今般の件については、全く問題ではなく、むしろ市民の生命・身体・財産を守るという公の機関の元来の使命として、当たり前の対応であったと評価されるものである 「令状なく」という表現で報道されたことにより、実際に私の知人は、捜査関係事項照会があたかも令状を必要とするものと、誤解した人までいる 那覇市教育委員会としても、那覇市としても、図書館行政のみならず、他の全国自治体や公の機関と同じように、これまで通り、市民の生命・身体・財産を守るため、法令にもとづき積極的に捜査関係事項照会に対応することが市民から求められている 報道には「内心の自由」という言葉が出てきている。今回の那覇市立図書館の対応は、日本図書館協会の「図書館の自由に関する宣言」の趣旨に反したり、内心の自由を侵害したりするものであったのか、市長の見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、関係部長

一般質問（４日目） 令和元年 9 月 13 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	宮 里 昇 (日本共産党)	1 水産行政について	(1) 県の糸満漁港整備事業と泊漁港の再開 発・再整備について問う (2) 那覇市のマグロ類の水揚げ量及び県全体 における割合について問う (3) 小・中学生や、市民へのPRや後継者育成 に向けた取り組みについて問う (4) 観光漁業の推進・取り組みについて問う
		2 市営住宅の 改修について	(1) 安謝市営住宅の天井の仕上げ材・パーライ トが劣化で落下している。対応について伺う (2) 市営住宅の劣化などの相談窓口について 問う
		3 高齢者の健 康維持、地域 貢献の活動に ついて	(1) 曙願寿会の活動について伺う (2) 公園を高齢者も気軽に利用できるよう健 康器具の設置について伺う
		4 曙地域の公 共交通の整備 について	(1) 曙・港町地域のバス路線の変遷について伺う (2) 曙地域のバス路線の拡充について問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

質問方式
一問一答方式
(質問席のみ)

一般質問（４日目） 令和元年９月１３日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	奥 間 綾 乃 (なは立志会)	1 高齢者福祉 行政について	独居高齢者について以下伺う (1) 市内における独居高齢者数について伺う (2) 独居高齢者に対する行政の支援について伺う (3) 孤独死の状況について伺う
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	2 女性支援に ついて	不妊に悩む方への特定治療支援事業について以下伺う (1) 事業の概要と対象者について伺う (2) 事業開始年度とこれまでの利用者数を伺う (3) 事業の成果と今後の課題を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（４日目） 令和元年９月１３日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	糸 数 昌 洋 (公 明 党)	住宅政策について	(１) 市内の賃貸住宅事情(需給バランスや家賃等の状況)について (２) 新たな住宅セーフティネット制度の活用状況について (３) 本市における公営住宅(県・市)の管理戸数と入居募集状況の推移について (４) 公営住宅における要配慮世帯の入居募集状況の推移について
	質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)		【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（４日目） 令和元年９月１３日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	清 水 磨 男 (ニ ラ イ)	1 地域行政について	(1) 地大豆への考えを伺う (2) 小学校区まちづくり協議会の問題点として、P T Aの加入率、P T Aの教職員の加入率、P T A役員の教職員の割合、複数の小学校区にまたがる自治会の現状を伺う (3) 道路ボランティアと公園ボランティアの違いを伺う (4) 波の上ビーチ広場の衛生環境の改善状況を伺う (5) くもじ地域について、緑ヶ丘公園及び周辺での、違法行為や迷惑行為の現状を伺う
		2 子育て行政について	日焼け止めや服装などの規制状況を伺う
		3 道路・防災行政について	(1) M a a Sへの考えを伺う (2) 屋内禁煙への動向も踏まえ、商店街の喫煙防止への必要性を伺う
		4 観光行政について	(1) カシュルート（コーシャ認証）への考えを伺う (2) 水槽の設置について考えを伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

質問方式
総括質問方式
(質問席のみ)

一般質問（４日目） 令和元年 9 月 13 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	當 間 安 則 (維新・無所属の会) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 学校施設の耐震化事業について 2 学校施設のブロック塀改修について 3 障がい者就労支援について	今年も最大震度 6 弱以上の地震が 3 件発生している。学校施設は、児童生徒の学習及び生活の場であり、耐震化により安全性を確保することは、非常に重要である。震度 6 強の地震に備えた耐震化が求められている。以下伺う (1) 学校施設耐震化の現状と課題について伺う (2) 今後のスケジュールについて伺う (3) 那覇市学校施設等長寿命化計画について伺う 去年 6 月の大阪北部地震時に児童が犠牲になった事故を受け始まった、学校の危険なブロック塀の改修について伺う (1) 現在の状況について伺う (2) 臨時特例交付金の活用実績について伺う (3) 今後のスケジュールについて伺う 年々、増加する障がいのある方に対し、地域や社会への参加を促進する仕組みの充実を目指し、就職、就労支援が重要となる。以下伺う (1) 直近の就労移行支援、就労継続支援 A・B 型の事業所数と実利用者数について伺う (2) 過去 5 年間で、本市民の就労移行支援事業から一般就労につながった人数について伺う (3) 就労定着支援について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 防犯カメラ 設置について	今般、ドライブレコーダーの普及により、交通事故やあおり運転等、トラブルが起きた時の正確な状況把握に役立っている。本市でも観光客、特にインバウンドによる外国人のトラブル・犯罪を抑止し、見守ることを基本目的に早急に設置事業を行うべきである。本市の見解を伺う 【答弁を求める者】 教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和元年 9 月 13 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	古 堅 茂 治 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 沖縄都市モノレールの延長開業について 2 性の多様性を尊重する都市・なはづくりについて	沖縄都市モノレールは、2003 年 8 月に那覇空港～首里駅間で運行をスタートして 16 年、延長工事を 2013 年に着手して 6 年、首里石嶺町民、那覇・浦添市民など多くの県民が待ち望んでいた首里駅～てだこ浦西駅までの延長路線が 10 月 1 日に開業する。延長概要、開業効果等を問う マイノリティといわれる人たちが暮らしやすいほど、その社会のすべての構成員にとっても暮らしやすい社会である。L G B T ・ S O G I (性的指向・性自認)、性的マイノリティの一人ひとりが、社会や地域、企業、学校のなかで自然な存在として溶け込み、そうしたなかで「ありのままの自分」を肯定できるようになるための施策推進が求められている (1) オール沖縄・城間市政は、2015 年 7 月に、「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言（通称：レインボーなは宣言）を発表、2016 年 7 月に、全国で 5 番目となる「那覇市パートナーシップ登録」制度を開始、多様な性のあり方は人権として尊重されるべきと取り組みを展開している。現状と課題等を問う (2) 2005 年策定した「那覇市男女共同参画推進条例」に基づいて、「第 4 次那覇市男女共同参画計画」が策定中である。そこで、性的マイノリティへの言及がない、「那覇市男女共同参画推進条例」は改正する必要がある。対応を問う (3) 「性の多様性に配慮した人権尊重」の立場から公的書類における不必要な性別欄を見直し撤廃すべきである。取り組みを問う (4) 教育委員会では、「レインボーなは」宣言を根幹に、学校における L G B T への配慮に関する指針を作成し、学校が多様な価値観～性の多様性～を自然に受け入れられる環境であることが必要として取り組みを前進させている。教育委員会・学校での取り組みを問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 観光・経済・ バリアフリー 行政について	沖縄経済のリーディング産業として県経済を牽引しているのが観光産業、沖縄への2018年度の入域観光客数は999万9千人と6年連続で過去最高を更新している 9月6日、日本銀行沖縄支店は、県内金融経済概況について72カ月連続して全体として拡大していると公表している オール沖縄の翁長前県政・玉城現県政のもとで好調が続く県経済をリードしているのが那覇空港と那覇港を抱える県都・那覇市である。オール沖縄・城間市政は、「稼ぐ力を高める」視点に重きを置きつつ、経済振興政策を「2丁目1番地」として、中小企業振興条例、観光基本計画、第5次総計等に基づき様々な施策を展開している (1) 那覇市観光審議会の役割と7月の2019年度那覇市観光審議会答申の概要を問う (2) 沖縄県は、沖縄観光バリアフリー宣言を行い、高齢者や障がい者など、誰もが安心して楽しめるやさしい観光地をめざす観光バリアフリーへの取り組みを推進している。観光バリアフリー入域実態と本市での課題等を問う (3) 那覇市バリアフリー基本構想策定の目的と重点整備地区等について問う (4) 那覇市中小企業振興審議会の役割と7月の2019年度那覇市中小企業振興審議会答申の概要を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長